

# ハトムギ作付倍増

いなば生産  
組合総会 1個人・団体参加へ

小矢部市と高岡市福岡町のハトムギ生産農家をつくる「いなばハトムギ生産組合」（和田俊信組合長）の総会が二十四日、小矢部市赤倉のJAいなば農業創造センターで開かれ、二十一年度の作付面積を、前年度の約十八割から約四十割に倍増させることなどを決めた。

同組合は昨年、栽培技術を確立し、高付加価値の特産品に育てるため設立した。二十の組合員でスタートしたが、二十一年度は一個人、一団体が新たに参加。事業計画では、

作付面積など事業計画を決めたいなばハトムギ生産組合の総会



全国ハトムギ生産技術協議会が七月に島根県で開く研修会に参加するほか、九月に刈り取り事前講習

会を開く。

組合員やJA関係者らが出席。和田組合長が「生産量がトップの地域にしたい」とあいさつし、筱岡貞郎同JA組合長らが祝辞を述べた。